維持会費の納入をお願いします。（詳細は左下）

校友の広場

ST.PAUL'S ALUMNI

クラス・同窓

昭和36年卒文英A組クラス会

'06・10・21　セントポールズ会館

卒業45周年のホームカミングを兼ねて開催。23人の参加者の中には、卒業後初お目見えの米国在住・田代洋子さんや「夫が青春を過ごしたキャンパスに立ちたかった」という塚本守君（05年春死去）夫人陽子さんも。亡友8人への献杯では一瞬シュンとなったものの、「良い友に恵まれた感謝の気持を表したい」の声に呼応して母校へのささやかな寄付のカンパで中締めとなった。（塩野入剛　記）

【出席者】青木　純　池田公明　石郷岡和彦　大塚（志田）みさ子　大山勢津子　小田信生　勝山（守屋）文子　金子尚代　木村萬貴子　桑原嘉子　塩野入剛　杉山恵一　鈴木（石田）みね　塚本陽子　築井秀夫　禰宜沢昭雄　野村真理江　福島　茂　松井忠雄　松浦文江　松岡　徹　横田　宏　田代（田沢）洋子（かっこ内は旧姓）

昭和36年卒業英米文学科社会学科I組クラス会

'06・10・29　池袋「華湘」

母校のホームカミングデーの当日、昨年に引き続いてのクラス会を開きました。出席者の元気はつらつとした素晴らしい顔・顔・顔。卒業後45年、決して楽な道程ではなかったと思いますが、その苦労のシワひとつ見せずに人生これからだと言わんばかり。早々と来年の幹事も決めて散会しました。（太田三郎　記）

昭和24年卒「二四会」

'06・11・6　日比谷松本楼

我々昭和24年卒は終戦直後の入学生で、同窓親睦会「二四会」を作り親睦を計っております。ホテル研究会第1回生のメンバーとして励ましの思いも込めて後輩経営の施設を利用するようにしております。今回は都心の日比谷公園内にある「日比谷松本楼」（小坂哲瑯社長・昭29営・ホテ研6回生）で特別の部屋にてフランス料理を味わいながら行いました。80歳を超えているので少数になりましたが、7名の参加で卒業以来始めて会った友もおり学生時代・その後の歩み・健康家族の状況・社会状況・今後の進め方等話に花が咲き楽しく懇親を深めました。小坂社長の格別のご配慮に感謝しております。（秋澤洋三　記）

【出席者】鵜飼　徹　太田三郎　河野多恵子　打越玉樹　佐藤寛治　隅野成一　後藤武彦　高山三郎　根本利昌　高砂裕圀　伊藤宗良　岩間芙美子　八木　功　野村重子　早川光江　下田光子　渡辺　翠

【写真右より】秋澤洋三・加藤義・笹井武朝・村上善夫・飯塚久和・鈴木博・安藤重善・小坂哲瑯社長

昭和32年卒「セントシャイン会」

'06・11・15　西麻布「霞会館」

恒例の第8回「セントシャイン会」は、晩秋の前回と同じ霞会館に初参加の梶屋庄佑氏、山根光生氏を迎え、今回は体調を崩された方も多く総勢14名が参集し開催。斎藤孝美氏の音頭で開会の乾杯、初参加の両氏の近況報告、約半世紀ぶりの再会という人もおり話が弾み各人の情報交換に杯を酌み交わしました。会が半ばにさしかかったところで、星野仁氏から前回の続きとしてスケート界の実情第2弾の説明、また10月末から11月中旬まで世界のエベレストに登頂して帰国したばかりの彼からエベレストの自然の雄大さに感動した状況報告を拝聴しました。あっという間に時間が過ぎ、閉会前に校歌を内野雅史氏のリードで斉唱し、健康に十分注意し頑張ろうと次回の再会を約し散会、各自秋深まる夜の六本木の街を後にしました。（吉川俊夫　記）

【出席者】内野雅史　柿沼　寛　梶屋庄佑　栗山定幸　斎藤孝美　斉藤　繁　杉山慎郎　竹内弘和　出浦　強　星野　仁　山根光生　山田喜正　横内英夫　吉川俊夫

昭和38年心理・教育学科卒同期生会

'06・11・25　池袋キャンパス

【出席者】浅野雅子　雨宮武之　今井朝雄　小川正夫　越桐弘夫　高砂靖治　東海林恒之　高橋正雄　田辺嘉一　所　栄一　長浜長二　中村正樹　成田岑生　西村駿一　福地昭子　保科俊圀　渡辺半三郎

（中村正樹　記）

昭和29年卒　経済B組クラス会

'06・12・15　日比谷「松本楼」

晩秋の日比谷公園を一望しながら恒例の集りを開催しました。皆75才以上、夫々深い趣味に生き人生を謳歌しています。大いに語り友情を温め心和む一時を過しました。互いの健康を念じ来年の再会を約し散会しました。（長谷川欣司　記）

【出席者】出光謙介　大竹作造　大塚章由　尾籠鉄夫　唐木三夫　倉田　亮　後藤喜久男　坂口洋一　田窪和夫　竹中　明　長谷川欣司　早川俊太郎　福島信敬　松本　昭　宮寺邦男　渡辺雄一

14名が母校に集合。チャペルにて感謝礼拝を捧げる。武藤チャプレン長の「感謝」と「愛」の大切さの説話に大きな感動を与えられる。同期生でもある松平立教学院長のガイドでキャンパスツアーの後、ライフスナイダー館にて楽しい懇親会。お互いに感動とこれからの人生を生きる力を与えられ、神様に感謝しつつ帰路についた。（高橋委作　記）

セントポールズ19会

'07・1・19　新橋「新橋亭」

賀詞交換会として集りました。皆で17名でした。遠く神戸からいつもの通り前田君も来られ、八木君も久し振りに参加しました。彼の話で、今の殺伐とした混乱した世相は、キリストの愛が足りないからだという話を皆、熱心に聴きました。呉社長も挨拶に来られました。次回は7月に又会おうと約して散会しました。（上妻信　記）

クラブ・ゼミ

経済学部山口ゼミナール第14回義翔会

'06・11・18　池袋「東明龍鳳」

昨年末、山口ゼミのOB・OG会が開催されました。当日は53名が出席し、現役・卒業生隔たりなく交じり合う会となりました。会の途中に大橋英五総長の飛び入りサプライズスピーチもあり、例年に勝る中身の濃い会となりました。今年はゼミ創立15周年という節目となり、盛大な式典を立教大学で開催します。皆様、是非お越しください。（水島幹雄　記）

サパンヌ美術クラブOB会

'06・11・19　セントポールズ会館

06年11月15日～20日サパンヌ美術クラブOB展が2年ぶりに池袋画廊で開催され、個性的な作品30点が全国から出品されました。OB会には約70名が参加し、出品作品の話、近況など年代を越えて交流も出来、楽しい会となりました。次回は、2年後の開催です。皆さん是非参加して下さい。（斎藤達夫　記）

ハンドボール部創立60周年記念式典

'06・11・25　第一食堂

式典に先立ちチャペルで八木チャプレンによる記念礼拝があり、逝去者の追悼を織り込んだ60周年の祈りをささげました。引き続き懐かしの第一食堂にて記念式典を行いました。式典には岡本体育会会長、榎本体育会OB・OG会会長をはじめ学内外からたくさんの賓客にご臨席いただき、100名を超える盛会となりました。卒業以来数年、数十年ぶりに再会する顔と顔がそろい一瞬のうちに当時にタイムスリップ。元名選手たちが再会を喜び合いました。式典の数時間は瞬く間に過ぎてしまい、応援団による勇壮なリーディングで校歌を斉唱し胸に熱い血潮を甦らせて帰途に着きました。各人が立教でよかったと再確認した一夜でした。（笠井　記）

合気道会45周年記念会

'06・11・26　第一食堂

昭和36年より始まった合気道会も45周年を迎える事となりました。当日は40名以上のOB・OGが集い、黒岩洋志雄師範のもとに稽古会、懇親会と現役学生との親睦を深めました。更に50年、60年と厳正にしてひたむきな情熱を歴史に重ねていきたいと思いました。（町田　記）

立教大学体育会昭和31年入部者の集い

'06・12・15　太刀川記念館

約60名がお互いの「古希の祝い」のために集まりました。前回と同じ金子司会の集いは学院チャプレン長武藤主教の「開会の祈り」で始まり、来賓紹介に続き、大橋総長の代理、新地校友課長と松﨑校友会長の代わりに田尾副会長の「来賓代表挨拶」、記念写真を皆さんに当日持ち帰ることが出来るよう先に撮影を終え、岡本体育会長（観光学部教授）の「ご挨拶・乾杯音頭」でパーティがスタート、野球部・箱根駅伝プロジェクト・キープ協会からのアピールや各部からの一言などもあり、久し振りの集まり、遠方からの参加、前回来られなかったメンバーの参加もあって懐かしい仲間との再会に大いに盛り上がりました。最後に応援団現役のリードで応援歌・校歌を斉唱、河村世話人代表から大学への「赤レンガ募金」寄付の贈呈・挨拶で締めくくりました。今年も何人かの逝去者がありましたが、私のよく知っている仲間では体育会本部・ラグビーの栗原錦司、バスケットの佐伯正敦、バドミントンの永井榮一達も鬼籍に入りました。前回、平成9年11月2日にお互いの「還暦の祝い」のために約90名が集まったのに次ぐ9年振りの楽しい催しで、他の学年にはない独特のものだと思います。我々の学年は総勢約1700名で、その内、体育会メンバーは約350名、現在連絡が取れるのは約300名です。世話人は前回と同じ河村彰之輔（バスケット）、松田菊雄（ヨット）、福島静子（ヨット）、須藤秀夫（フェンシング）、久保田赳夫（ゴルフ）、金子眞（柔道）でした。（金子眞　記）

維持会費納入

ST.PAUL'S ALUMNI

ご協力お願い申し上げます。

校友会ではこの「セントポール」誌発行をはじめ、様々な校友会の活動をご支援いただくため、維持会費の納入をお願いしております。昨年は約5,300件、2,000万円を超えるご協力をいただきました。これからの校友会発展のためにもどうぞご支援をよろしくお願い申し上げます。

維持会費は一口3,000円以上で

会員の皆様には一人一口3,000円以上での納入をお願いしております。

納入方法について

今回同封の振込用紙にてご入金をお願いします。郵便局・銀行版とコンビニエンスストア版の二種類が学年別に封入されておりますのでご確認の上お振込手続きをお願いします。振込用紙を紛失された方は校友会事務局までご連絡ください。

「校友の広場」掲載希望の方は、(1)文字数　150文字まで（出席者数のお名前を含む）(2)写真　1枚（パノラマ不可）を下記まで送付またはメールにて投稿ください。あて先　〒171―8501東京都豊島区西池袋3―34―1　「立教大学校友会　会報担当係」メール「koyu@grp.rikkyo.ne.jp」

「校友の広場」には常に多数の応募があり、現在なかなかタイムリーに掲載できない状況にあります。原則として年間1団体、掲載とさせていただきます。ご理解のほどをよろしくお願い申し上げます。